

岡山県歯科医師会 災害対策研修会

□ 日 時

令和8年2月22日（日）

10:00 ~ 12:30

□ 会 場

岡山県歯科医師会館 2階 もも丸ホール

及びWeb 配信【Zoom】

□ 申込み

不要 WEB での聴講可

※本会ホームページ「研修会情報」より
聴講ください。

日 程

10:00 開 会

挨拶 岡山県歯科医師会 副会長 小見山 信

10:10 研修Ⅰ 講 師 中久木康一 先生

11:10 研修Ⅱ 講 師 大黒英貴 先生

12:10 質 疑

12:30 閉 会 岡山県歯科医師会 副会長 石戸善一郎

主 催 : 岡山県歯科医師会

共 催 : 岡山県歯科衛生士会・岡山県歯科技工士会

中国歯科用品商協同組合岡山県支部

■当日、以下のものをご持参下さい。

1. プログラム
2. 日歯生涯研修事業ICカード

【研 修 I】



「災害時の保健医療活動の体制の変遷と、 JDAT（日本災害歯科支援チーム）の体制整備」

東北大学大学院 歯学研究科 災害・環境歯学研究センター特任講師

なか く き こういち

中久木 康一 先生

【抄 録】

歯科における災害時の保健医療対応は、1993 年の北海道南西沖地震、1995 年の阪神・淡路大震災における歯科医療救護活動から始まった。1999 年に米山武義先生の「Oral care and pneumonia」が Lancet に掲載されたこと、1995 年の阪神・淡路大震災での災害関連死の原因の 24%が肺炎であったこと、さらには 2000 年には介護保険制度が創設されたことなどもあり、2004 年の新潟県中越地震、2007 年の新潟県中越沖地震からは、歯科保健活動としての口腔ケアやその啓発も積極的に行われるようになり、現在まで続いている。

その災害時の保健医療活動は、2011 年の東日本大震災以降は市町村のみならず保健所が管理するものとされ、さらに 2016 年の平成 28 年熊本地震をうけて都道府県庁に保健医療調整本部を設置して実施するものとされた。2018 年にはこの総合調整を担うための DHEAT（災害時健康危機管理支援チーム）が正式に発足し、2022 年には福祉も加わり保健医療福祉調整本部となり、2025 年には福祉が災害救助法に追加されるとともに、対応職種に歯科技工士が追加された。

JDAT（日本災害歯科支援チーム）は、自治体により管理される災害時の住民の健康管理体制の中で活動する歯科保健医療活動チームとして、2022年に創設された。この役割や位置づけを確認し、効果的な活動のための歯科における体制整備について考察する。

【略 歴】

1998 年 3 月	東京医科歯科大学（現：東京科学大学）歯学部 卒業 第 1 口腔外科学（現：顎顔面外科学）入局
2002 年 3 月	東京医科歯科大学（現：東京科学大学）歯学部 大学院 修了
2003 年 4 月	静岡市立静岡病院口腔外科
2004 年 4 月	北里大学病院形成外科
2006 年 4 月 ～ 2021 年 3 月	東京医科歯科大学（現：東京科学大学）大学院 医歯学総合研究科 顎顔面外科学分野
2021 年 4 月 ～	東京医科歯科大学（現：東京科学大学）大学院 医歯学総合研究科 救急災害医学分野 非常勤講師
2024 年 3 月 ～	東北大学 大学院 歯学研究科 国際連携推進部門 世界展開力強化事業推進室 特任講師
2024 年 11 月～	東北大学 大学院 歯学研究科 災害・環境歯学研究センター 特任講師

【著 書】

- ・「歯科における災害対策 ―防災と支援―」砂書房 2011 年 5 月
- ・「歯科医院の災害対策ガイドブック」医歯薬出版 2013 年 3 月
- ・「災害時の歯科保健医療対策 連携と標準化に向けて」一世出版 2015 年 6 月
- ・「繋 ―災害歯科保健医療対応への執念―」分担執筆 クインテッセンス出版 2016 年 7 月
- ・「災害歯科医学（共編）」医歯薬出版 2018 年 2 月 1 日
- ・「災害歯科保健標準テキスト＜第 2 版＞」共著 医歯薬出版 2021 年 12 月 24 日

【研修Ⅱ】



「災害時に求められる歯科医療職の連携体制」

一般社団法人 岩手県歯科医師会 会長

だいく ひで き
大黒 英貴 先生

【抄録】

2011年に発生した東日本大震災は津波被害が甚大で、被災地の歯科医療機関や自治体の被災が酷かった状況下で、岩手県歯科医師会は、法律、協定、他職種連携など初めて向き合う多くの課題に直面し、日頃連携協力していた県行政をはじめ関係職種と一緒に、歯科所見による身元確認や避難所・高齢者施設等の被災者に対して、義歯作製や口腔衛生管理指導などの歯科保健医療の提供を行った。また被災地域の復興のため、会員診療所復旧に係る支援活動も行った。

また2016年の熊本地震においては、九州地区を中心に歯科医師会や大学歯学部、JMAT (Japan Medical Association Team: 日本医師会災害医療チーム)に歯科医師が参画しての支援活動が行われ、2024年の能登半島地震においても、JDAT (Japan Dental Alliance Team: 日本災害歯科支援チーム)が初めて派遣され、歯科保健医療支援体制も確立されつつあり、今後の都道府県における人材育成が期待されている。

自治体と歯科医師会や関係団体、大学歯学部とどのように連携し、情報共有しながら、どこに基点を置いて歯科支援活動を行うのか、また被災地域の歯科医療資源をどのように回復させていくべきなのか、東日本大震災の経験をもとに考察したいと思う。

【略歴】

1988年	岩手医科大学歯学部 卒業
1988年～1992年	岩手医科大学歯科補綴学第一講座 入局
1995年～	盛岡市に、医療法人だいく歯科医院 開設
2011年～2025年	岩手県歯科医師会 専務理事
2013年～2015年	日本歯科医師会 理事
2015年～	岩手医科大学歯学部 臨床教授
2016年～	岩手医科大学歯学部 非常勤講師
2022年～	盛岡看護医療大学校 非常勤講師
2025年～	岩手県歯科医師会 会長

【災害関係】

日本歯科医師会 災害時対策・警察歯科総合検討会議 副委員長
日本障害者歯科学会 災害支援対策委員会 委員
いわて災害医療支援ネットワーク会議 委員
岩手県災害拠点病院連絡協議会 幹事

【共著】

・「災害時の歯科保健医療対策～連携と標準化に向けて～」	一世出版	2015
・「ひろがる災害医療と看護～身につけるべき知識とスキル」	医学書院	2016
・「災害歯科医学」	医歯薬出版	2018
・「災害歯科保健医療 標準テキスト」	一世出版	2021

【MEMO】